当別町地域公共交通活性化協議会　平成20年2月1日設置

概　要

当別町は、札幌市と境界を接し、札幌中心部から約15～25kmに位置しており、面積は、422.86平方キロメートル。人口（令和4年12月1日住民台帳）は、15,338人である。

○地域公共交通の現況

・JR札沼線（当別駅、太美駅、北海道医療大学駅、ロイズタウン駅）
・当別ふれあいバス
　地域間幹線系統：あいの里金沢線
　地域内フィーダー系統：青山線、市街地予約型線、西当別道の駅線
・月形当別線

○地域公共交通の課題

・交通サービス維持のための財政負担や運転手不足
・移動需要の減少と高齢化
・利便性の高い公共交通サービスの提供

○調査の主な内容

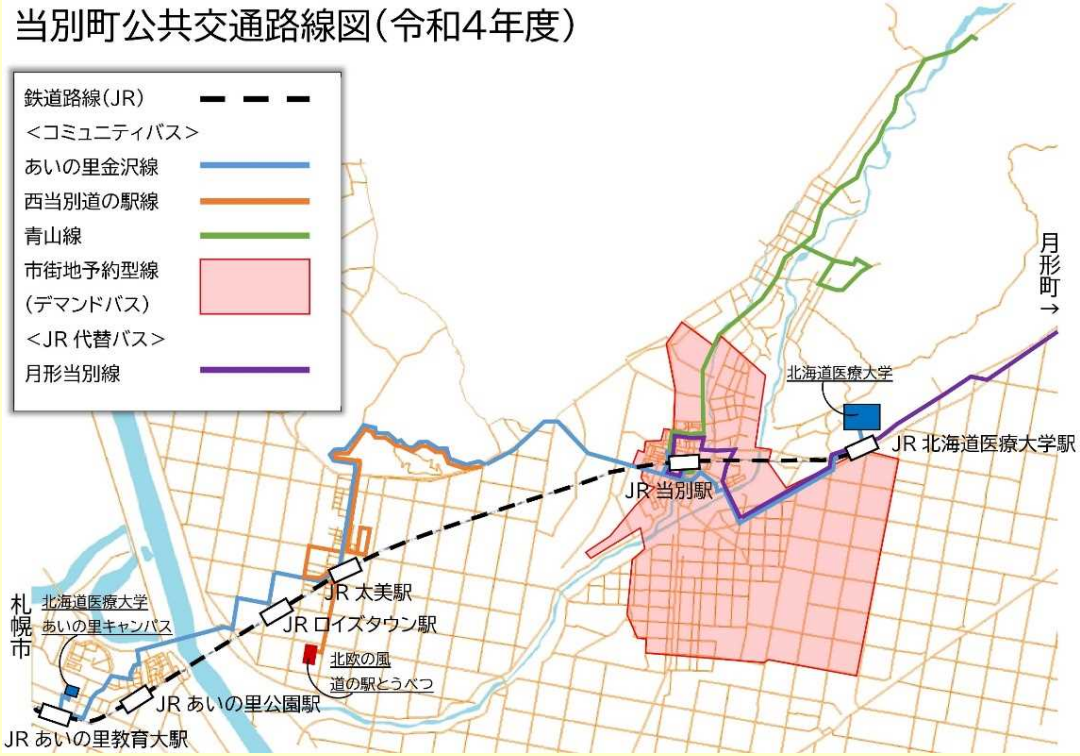
・利用実態調査（乗降調査・OD調査）
・関連事業者・施設等へのヒアリング調査（アンケート調査含む）

○地域公共交通活性化協議会開催状況

令和4年6月28日　第1回協議会を開催
主な協議事項：令和5年度地域内フィーダー系統確保維持計画他
令和4年10月10日　第2回協議会を開催
主な協議事項：令和4年12月1日付けダイヤ改正について他
令和4年12月20日　第3回協議会を開催
主な協議事項：地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価他

公共交通の概要

当別町公共交通路線図（令和4年度）



当別町地域公共交通活性化協議会　計画策定に係る事業の取組状況

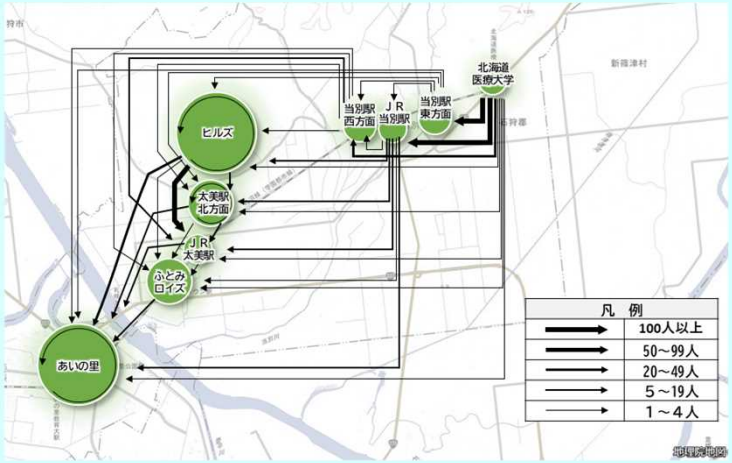
●事業の結果概要

○利用実態調査（乗降調査・OD調査）

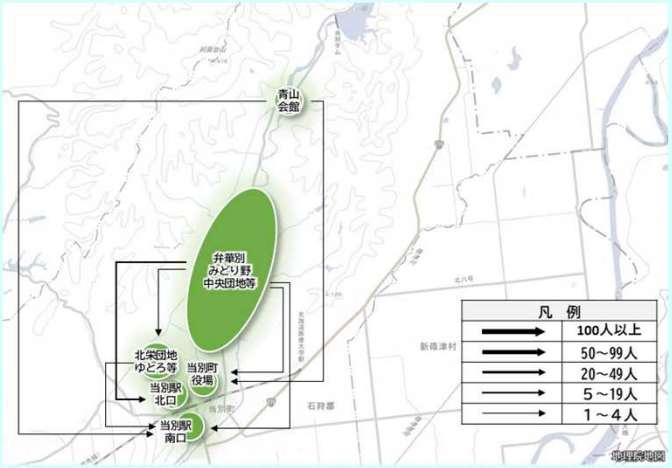
町内のJRの駅に調査員を配置し、乗降調査を実施した。また、町内のコミュニティバス車内に調査員を配置し、OD調査を実施したことにより利用実態を把握した。

【OD調査結果】

あいの里金沢線

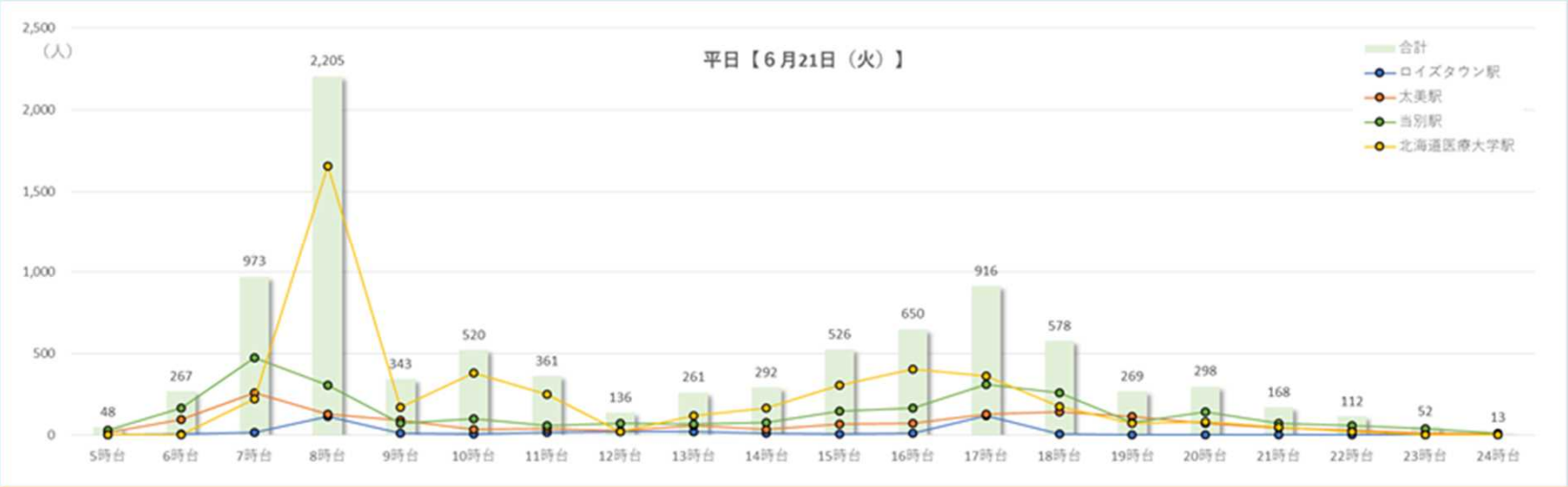


青山線



西当別道の駅線

【JR学園都市線時間帯別利用者推移】



当別町地域公共交通活性化協議会　計画策定に係る事業の取組状況

●事業の結果概要

【路線別の課題整理】

あいの里金沢線

あいの里金沢線は、北海道医療大学への通学や通院、本町エリアと太美エリア間の移動、スウェーデンヒルズ住民の生活の足、札幌あいの里地区へのアクセスなど、多様な生活ニーズを支える役割を担っている。一方で、利用の多い便と少ない便の乖離が大きいことや新たな移動ニーズの発生が予測されることなどを踏まえて、他の路線も含めて一体的なサービスの見直しが求められる。

青山線

青山線は、青山エリアに居住する高齢者等の買物や通院の足としての役割を担っている。また、総数は少ないものの通勤や通学での利用者も散見され、青山エリアの住民にとって必要なサービスと言える。一方で、利用者数の減少は著しく、利用者のいない便も多いことから、サービスの見直しによる効率化と利便性向上による利用拡大が求められる。

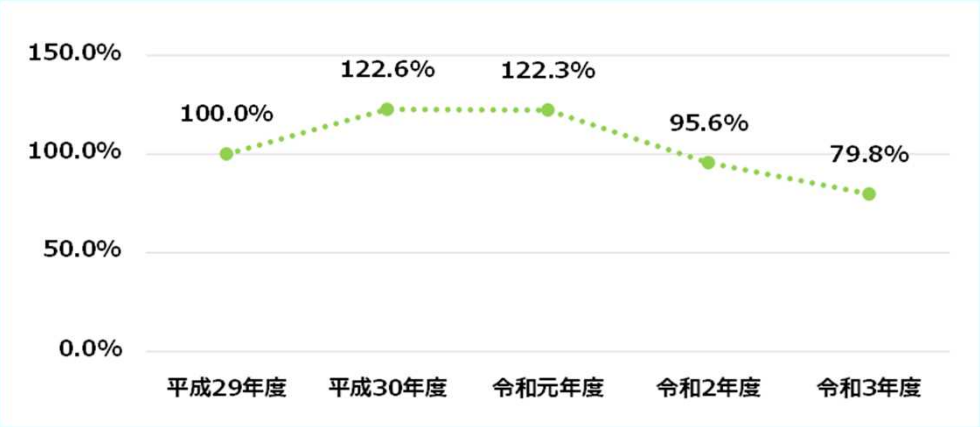
西当別道の駅線

西当別道の駅線の利用者の多くはスウェーデンヒルズの住民であり、通勤や通学で太美駅までの移動手段としての役割を担っている。また、休日には道の駅と太美駅間での利用されているが、当該路線の単独運行区間である太美スターライト地区や西当別コミュニティセンター周辺での利用はあまり見られない。西当別エリアが新しい宅地造成や新駅開業などのニーズの変化が著しいことを踏まえると、利用の少ない便や経路についてはサービスの見直しが求められる。

○関連事業者・施設等へのヒアリング調査（アンケート調査含む）

関連事業者・施設等へのヒアリング調査及びアンケート調査を実施し、事業者や施設運営の視点からの公共交通ニーズや実態について把握した。

【タクシー・ハイヤー年間利用者推移】



【バス事業者運転手年齢構成】

【課題整理】

バスの運転手は年々高齢化が進行しており、バス及びタクシー・ハイヤーの運転手確保に苦慮している状況であるが、タクシー・ハイヤーを含めた地域の移動手段の需要は高く、これらの移動手段を維持するためには、運転手の確保が求められる。

○地域公共交通利便増進実施計画素案作成

調査の結果を基に分析を実施し、利便増進案を検討中

○協議会の開催

利便増進案を基に素案を作成し、協議会での検討を経て、持続可能な地域公共交通のための計画として最終的にとりまとめる。

当別町地域公共交通活性化協議会　計画策定に係る事業の取組状況

●地域公共交通計画等の計画策定に向けた方針

○当別町地域公共交通計画の基本理念

安全・快適な移動を支える持続可能な地域公共交通の実現

○当別町地域公共交通計画の基本方針

Ⅰ：JR学園都市線とコミュニティバスを軸とした持続的かつニーズにあった地域公共交通ネットワークの維持・形成

Ⅱ：移動需要の減少と高齢化に対応したモビリティの導入

Ⅲ：デジタル技術を活用した利便性の高い公共交通サービスの提供

Ⅳ：人出不足時代における公共交通サービスの安定した提供の実現

Ⅴ：戦略的かつ網羅的なモビリティ・マネジメントによる過度なクルマ利用からの脱却

○利便増進実施計画に位置付ける新たな公共交通網

【新たな公共交通路線図】

当別町地域公共交通活性化協議会　計画策定に係る事業の取組状況

●地域公共交通計画等の計画策定に向けた方針

【利便増進実施計画に位置付ける主な施策】

□ 西当別エリアの運行ルート変更
・西当別エリア内の潜在的利用者増加エリアへの対応として経路の変更を検討する。
□ 西当別道の駅線の在り方検討
・利用の少ない区間の運行継続可否について検討する。
□ 観光客等の町内周遊を支える交通サービスの検討
・ロイズタウン駅周辺や道の駅への観光利用ニーズの特性（休日利用等）を踏まえて、
既存サービスの改善または新規サービスの導入等による周遊促進策について検討する。
□ 青山線エリアへのデマンド型交通導入検討
・青山線エリアの交通サービスの見直し案として市街地予約型線（デマンド）の運行を検討する。（既存エリアの拡大等）
・朝夕の一定の利用が見込める時間帯・曜日については定時定路線便の維持可否についても検討する。

今後、具体的な時期や方法を含めた素案を作成し、協議会の検討を経て、令和4年度末に当別町地域公共交通利便増進実施計画として最終的にとりまとめる。

●事業実施の適切性

計画通り事業は適切に実施されている。

●地方運輸局及び地方航空局における二次評価結果

・事業は、計画どおり実施されている。
・引き続き事業の完了に向けて取り組んでいただきたい。
・今後は、地域公共交通計画の見直しと併せて、町内バス路線再編や新規サービスの導入等も検討し、利便増進実施計画を確実に策定いただきたい。